

丸全昭和運輸労働組合 第 70 回中央定期大会

丸全昭和運輸労働組合は 9 月 8 日（土）13 時～翌 9 日（日）に掛けて、月の栖 熱海聚楽ホテル（静岡県熱海市）において第 70 回中央定期大会を開催。来賓として運輸労連本部より難波中央執行委員長、神奈川県連より亀崎執行委員長・高橋書記長・望月書記次長、神奈川県法律事務所 野村弁護士、労働福祉団体より中央労働金庫横浜支店 菅沼支店長、全労済神奈川本部 新倉部長、(株)エル・ビー・エー 山本社長にお越し頂き、御挨拶ならびに激励の御言葉を頂戴致しました。



尾池中央執行委員長

尾池中央執行委員長から主催者挨拶。その後、萩原中央書記長から一般経過報告と第 1 号議案を、第 2 号議案から第 7 号議案までは、担当執行委員が提案を行いました。続いて、各項目に対して投票を行い、執行部提案 7 議案、全て承認可決致しました。なお、今期は役員改選期にあたり、三役は萩原中央執行委員長、西谷中央副執行委員長、浅井中央書記長、中央執行委員は 12 名中 6 名、中央会計監査は、2 名中 1 名が交代となりました。



神奈川県連 亀崎執行委員長



丸全昭和運輸労働組合 第70回中央定期大会



新役員代表挨拶として、萩原中央執行委員長【写真・左】より「丸全昭和は、交渉権の持った労働組合。あれこれいってもどうしようもないという虚無主義では当然いけませんし、無責任に付和雷同する迎合主義でもいけません。職場の意見は意見としてしっかり受け止めた上で、どの様な改善策があるのか、どうすれば良い職場環境につながっていくのか、組織全体でしっかり考え、知恵を出し合うことが重要だと思います。職場に行けば、不平不満も聞くこともあります。しかし、不平不満を言って頂けるのは、まさにこれが信頼関係であり、まだまだ組織は健全な状態にあるからこそだと思います。今年度も職場に足を運び、職場の声も把握する機会も増やしていきたいと考えますので、ご協力を頂きたいと思えます。」最後は、団結ガンバローで閉幕となりました。丸全昭和運輸労働組合は新体制のもと第 70 期がスタート致しました。不慣れなこともあり至らぬ点が多々あるかと思いますが、神奈川県連、友好単組の皆様には、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

中央執行委員長 萩原和彦